

自治基本条例項目検討シート(1) 【目的・条例の位置づけ・基本理念・基本原則】

大項目	中項目	市民会議での意見等	自治基本条例に盛り込む内容
1.総則	1.目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールをつくり守らせること か市民自治意識を高めるきっかけとするのか検討が必要。 ・市民が主体であることを忘れてはいけない。 【小諸市の自治の目指す姿(市民会議での確認)】 ・高い自治意識。 ・市民活動が盛んで、暮らしやすい地域を市民皆でつくっている。 ・市民活動は、行政の適切な支援のもとで、適切な役割分担の考えに基づいて行なわれている。 ・市民と行政の役割と責任を明確にし、自治のあり方を定める。 	
	2.条例の位置づけ		
1.総則	4.基本理念	<ul style="list-style-type: none"> 【小諸市の自治の目指す姿(市民会議での確認)】 ・高い自治意識。 ・市民活動が盛んで、暮らしやすい地域を市民皆でつくっている。 ・市民活動は、行政の適切な支援のもとで、適切な役割分担の考えに基づいて行なわれている。 ・市民と行政の役割と責任を明確にし、自治のあり方を定める。 	
	5.基本原則	<ul style="list-style-type: none"> 【市民主体】 ・市民が主体であることを忘れてはいけない。 【情報共有】 ・情報を共有財産として活用できる環境の構築は、公共政策、公共活動を担う上での大前提である。 【協働】 ・様々な主体が協働することによって、自治意識が高まる。 (参考:小諸市行政経営方針) 市民の幸せ度の向上を図るため、地域の実情と市民ニーズを把握し、市民とともに知恵を出し汗をかく市民協働の行政経営を進めます。 	